

① 本町の福祉政策について

(1) ロタウィルス予防接種について

ロタウィルス感染症は、乳幼児をはじめ子供に多い急性胃腸炎を引き起こす感染症で、2～3月にかけて最も多く発生するようです。ほかのウィルス性胃腸炎に比べて下痢や嘔吐の症状が激しいことが多く、入院が必要となる小児急性胃腸の原因の内50%を占めるとされています。成人にも感染しますが、軽症ですんだり発症しなかったりする場合があります。治った後の免疫は不完全で、再び感染することもあります。通常二度目は重症にはなりません。尚、原因ウィルスのロタウィルスは、10～100個程度でも体内に入れば感染するので、非常に感染力が強く、(便1gの中には1億から100億程度のウィルスが排出されます) 生後6か月～2歳位の乳幼児に多くみられ、5歳までには大半の子供はかかります。特に抵抗力が弱い乳幼児が感染すると「脱水症状」になりやすく、ひどい場合には病院で輸液(点滴)などの治療が必要となったり、更には入院となったりします。又、下痢症状の治療によってはウィルスが腸内にたまり、回復を遅らせることもあるようです。このような症状になる前に、ロタウィルスにはワクチンがあり、接種することで予防することができます。本町でもぜひワクチン接種の助成を行うべきと考えますが行政の考えを問います。

② 道路行政について

本町には国道207号線が通っております、これは本町を走る唯一の国道です。本線は大村湾岸沿いに走っておりこの路線は波静かな大村湾を眼下に見下ろす絶景なロケーションが望めます。現在国道拡幅が行われており、塩床付近まで拡幅工事を終えているようですが、先線の工事が止まったままになっているようです。先には本町の桜の名所和三郎公園や堂崎公園などがあり観光で利用される方も多いようです。町長が言われるシーサイドストリートを完成させる意味でも先線の工事完了を目指すべきと感じますが町の考えはいかがか問います。